



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月9日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 森田 宏昭 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,352	1.6	90	5.9	85	0.9	38	△72.7
29年3月期第1四半期	1,331	△6.7	85	6.9	84	7.5	142	84.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 78百万円 (△33.0%) 29年3月期第1四半期 117百万円 (65.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2.61	—
29年3月期第1四半期	9.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	23,296	10,862	46.6	729.87
29年3月期	23,607	10,784	45.6	724.56

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 10,850百万円 29年3月期 10,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,750	4.3	160	50.9	160	55.3	120	△35.1	8.07
通期	5,500	3.7	280	12.3	270	18.2	200	△58.9	134.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	15,000,000株	29年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	133,142株	29年3月期	132,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	14,867,585株	29年3月期1Q	14,868,719株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組みました。また、本年4月1日に、沿線地域の活性化に貢献するため、熊谷市・行田市と共に持田 - 熊谷駅区間に「ソシオ流通センター駅」を開業いたしました。

営業活動においては、各種イベントの実施や沿線市町・同業他社等と連携した誘客活動を積極的に実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益は1,352百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は90百万円（同5.9%増）、経常利益は85百万円（同0.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38百万円（同72.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

旅客部門におきましては、S L列車が運行30周年を迎え記念イベント等を開始した他、沿線地域が多くのメディアに取り上げられる中、秩父芝桜の丘から沿線観光への誘客キャンペーン等を実施し、更には天候にも恵まれたことにより定期外旅客人員及び定期外旅客収入は前年同期に比べ増加いたしました。

一方、定期旅客におきましては、新駅開業の効果もあり通勤定期旅客人員は増加となりましたが、沿線の就学人口の減少等により通学定期旅客人員が減少し、定期旅客人員及び定期旅客収入は前年同期に比べ減少いたしました。

貨物部門におきましては、順調に推移し貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、修繕費の増加等により前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は878百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は24百万円（同9.2%減）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、熊谷駅南口駐車場を拡充したことなどにより、賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は89百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は50百万円（同26.2%増）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、旅行者への営業活動を継続して実施した他、長瀨・秩父地域が多くのメディアに取り上げられたことに加え、天候に恵まれたことにより長瀨ラインくんだり及び宝登山ロープウェイ等の営業収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は128百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は13百万円（同171.1%増）となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、貸切バスの稼働率が伸びず営業収入は前年同期に比べ減少し、営業費用は、車両更新による減価償却費負担増により前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は105百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は7百万円（同49.7%減）となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は240百万円（前年同期比6.8%減）、営業損失は8百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ310百万円減少し23,296百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、291百万円減少し1,626百万円、固定資産は19百万円減少し21,669百万円となりました。流動資産減少の主な要因は現金及び預金、受取手形及び売掛金がそれぞれ増加しましたが、繰延税金資産及びその他に含まれる鉄道事業に係る補助金等の未収金がそれぞれ減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、有形固定資産の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ389百万円減少し12,433百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ456百万円減少し3,388百万円、固定負債は66百万円増加し9,045百万円となりました。流動負債減少の主な要因は賞与引当金及びその他に含まれる設備未払金がそれぞれ減少したことによるものです。固定負債増加の主な要因は長期借入金及び繰延税金負債がそれぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ78百万円増加し10,862百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	807,599	927,725
受取手形及び売掛金	227,088	307,533
分譲土地建物	128,346	128,346
商品及び製品	27,072	31,041
原材料及び貯蔵品	120,750	116,413
繰延税金資産	93,772	50,358
その他	517,670	69,533
貸倒引当金	△4,217	△4,584
流動資産合計	1,918,083	1,626,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,887,785	13,866,383
減価償却累計額	△9,551,123	△9,561,123
建物及び構築物（純額）	4,336,661	4,305,259
機械装置及び運搬具	5,026,458	4,973,998
減価償却累計額	△4,328,778	△4,305,234
機械装置及び運搬具（純額）	697,680	668,764
土地	15,870,576	15,870,576
その他	674,344	673,723
減価償却累計額	△597,170	△593,986
その他（純額）	77,173	79,737
有形固定資産合計	20,982,092	20,924,337
無形固定資産	62,187	56,088
投資その他の資産		
投資有価証券	601,655	656,069
繰延税金資産	3,446	3,341
その他	61,970	52,639
貸倒引当金	△22,247	△22,601
投資その他の資産合計	644,825	689,448
固定資産合計	21,689,105	21,669,874
資産合計	23,607,189	23,296,241

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,162	130,932
短期借入金	1,133,498	1,240,000
1年内返済予定の長期借入金	1,121,201	1,120,772
未払法人税等	78,346	—
未払消費税等	55,486	77,102
繰延税金負債	203	181
賞与引当金	194,292	113,658
その他	1,121,798	706,097
流動負債合計	3,844,988	3,388,744
固定負債		
長期借入金	2,311,712	2,351,842
繰延税金負債	129,372	145,946
再評価に係る繰延税金負債	4,554,400	4,554,400
退職給付に係る負債	1,729,553	1,735,608
特別修繕引当金	104,000	109,200
長期預り金	103,019	102,012
その他	46,075	46,075
固定負債合計	8,978,133	9,045,085
負債合計	12,823,122	12,433,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,916	21,916
利益剰余金	△355,993	△317,175
自己株式	△28,592	△28,826
株主資本合計	387,329	425,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368,580	406,404
土地再評価差額金	9,984,234	9,984,234
退職給付に係る調整累計額	32,436	34,320
その他の包括利益累計額合計	10,385,251	10,424,959
非支配株主持分	11,485	11,538
純資産合計	10,784,067	10,862,412
負債純資産合計	23,607,189	23,296,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業収益	1,331,492	1,352,944
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	915,468	934,112
販売費及び一般管理費	330,741	328,536
営業費合計	1,246,209	1,262,649
営業利益	85,283	90,295
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	6,914	4,813
土地物件貸付料	3,234	4,693
その他	3,709	1,442
営業外収益合計	13,866	10,956
営業外費用		
支払利息	12,730	10,454
減価償却費	—	4,095
その他	1,884	1,408
営業外費用合計	14,615	15,958
経常利益	84,535	85,293
特別利益		
固定資産売却益	—	2,439
工事負担金等受入額	10,340	—
補助金受入額	226	172
その他	934	—
特別利益合計	11,500	2,611
特別損失		
固定資産圧縮損	11,274	—
特別損失合計	11,274	—
税金等調整前四半期純利益	84,761	87,905
法人税、住民税及び事業税	10,063	5,552
法人税等調整額	△67,707	43,498
法人税等合計	△57,643	49,051
四半期純利益	142,405	38,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,387	38,818

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	142,405	38,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,271	37,840
退職給付に係る調整額	3,135	1,883
その他の包括利益合計	△25,135	39,724
四半期包括利益	117,269	78,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,260	78,526
非支配株主に係る四半期包括利益	9	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	848,061	81,949	121,257	114,988	1,166,256	165,236	1,331,492	—	1,331,492
セグメン ト間の内部 営業収益 又は振 替高	2,999	1,656	155	837	5,648	92,366	98,014	△98,014	—
計	851,060	83,605	121,413	115,825	1,171,904	257,603	1,429,507	△98,014	1,331,492
セグメント 利益又は損 失(△)	26,565	40,277	5,076	15,007	86,928	△4,407	82,520	2,762	85,283

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整2,762千円には、固定資産未実現損益の消去額376千円、セグメント間取引消去2,386千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	876,051	87,939	128,620	105,352	1,197,963	154,980	1,352,944	—	1,352,944
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	2,687	1,716	275	14	4,692	85,134	89,826	△89,826	—
計	878,738	89,655	128,895	105,366	1,202,656	240,114	1,442,771	△89,826	1,352,944
セグメント 利益又は損 失(△)	24,133	50,841	13,760	7,553	96,289	△8,325	87,963	2,331	90,295

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整2,331千円には、固定資産未実現損益の消去額382千円、セグメント間取引消去1,949千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より、報告セグメントの経営成績をより適切に反映させるため業績管理方法を見直したことに伴い、索道事業をそのセグメントから観光事業セグメントに変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しております。

3. 補足情報

(参考)鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率(%)
旅客人員	定期	千人	1,401	1,413	△0.8
	定期外	〃	761	744	2.3
	計	〃	2,163	2,157	0.3
貨物トン数		千トン	470	453	3.9
旅客収入	定期	百万円	193	195	△1.0
	定期外	〃	325	315	3.2
	計	〃	519	511	1.6
貨物収入		〃	291	272	7.0